



Data

監督・脚本：S. S. ラージャマウ
リ

出演：プラバース/ラーナー・ダッ
グバーティ/アヌシュカ・シ
エッティ/タマンナー/ラ
ムヤ・クリシュナ/ナーサル
/サティヤラージ/スッパ
ラージュ

■■■ショートコメント■■■

◆『バーフバリ 王の凱旋』(17年)と、『バーフバリ 王の凱旋 完全版【オリジナル・テルグ語版】』(17年)に続いて、本作『バーフバリ 伝説誕生 完全版【オリジナル・テルグ語版】』を鑑賞。本作については、チラシもなくパンフレットもなしだから、どんなバージョンかサッパリわからないまま劇場へ。

『バーフバリ 王の凱旋』(17年)は超満員だったし、『バーフバリ 王の凱旋 完全版【オリジナル・テルグ語版】』もほぼ満席だったが、本作はガラガラ。さすがに柳の下に3匹目のどじょうを求めるのはムリなのかも・・・？

◆本作導入部から前半部分はかなり退屈。若き日の、まだ自分がバーフバリだと知らない若者の恋模様の展開はロマンティックだが、壮大な時代絵巻の導入部としてはイマイチ。しかし、マヒシュマティ王国が登場する中盤以降は『バーフバリ 王の凱旋』でおなじみの顔ぶれが登場し、物語は次第に佳境に入ってくるから、次第に楽しくなってくる。

◆バーフバリ？それともバララデーヴァ？ふたりの後継ぎのどちらが次期国王に？それはいつの時代でも難しいテーマだが、『バーフバリ 王の凱旋』(17年)の冒頭に提示されたそのテーマが、本作では中盤から登場してくる。すると、本作のクライマックスでは、どんなルールでそれが決まることになるのだろうか・・・？

相変わらず私は、こんな楽しいスペクタクル時代劇は大好きだが・・・。

平成30年11月8日記